





























カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	サッポロビールでは全ビール工場などでISO14001, 本社および全営業拠点はエコアクション21の認証を取得。				3.9					6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	気候変動への取り組み（TCFD賛同による）をWebサイトに掲載。																12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	ビール醗酵熱、煮沸工程排熱、燃烧排熱、機械排熱、廃水処理水排熱といった未利用エネルギーを活用。										7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	サッポログループのグリーン調達基本方針の下、環境、生物多様性に配慮した調達に取り組んでいる。																	12.2	13	14	15			
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	「サッポログループ腐敗行為防止基本方針」「サッポログループ腐敗行為防止体制構築ガイドライン」を設定。従業員へ理解促進のためe-ラーニングを実施。																					16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	サッポログループ企業行動憲章の下、「サッポログループ腐敗行為防止基本方針」を策定し、社内でもミニブックや、e-ラーニングなどを通じて社員に周知。																					16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	サッポログループ企業行動憲章の下、適切に保護管理を行っている。													8.2 8.3		9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報および特定個人情報保護規定を策定し、体制を整備。定期的を確認している。																						16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物は扱っていない。																						16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	「サプライヤーサステナビリティ調達ガイドライン」などを制定し周知。「サプライヤー満足度調査」を毎年実施。												5				8		10	12	13	14	15	16
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	企業行動憲章において「商品・サービスの品質の追求と安全性の優先」を掲げ、「予防型品質保証」を共通の目標とし、お客様に信頼される企業を目指している。				3.9														12.4					
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	企業行動憲章において「商品・サービスの品質の追求と安全性の優先」を掲げ、「予防型品質保証」を共通の目標とし、お客様に信頼される企業を目指している。															9								
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	再生PET樹脂を使用した国内製造ワインやRTS商品での軽量瓶の採用など。																			12	13	14	15	
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	環境保全、地域振興などに関わるオリジナル商品の発売。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
32	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	ビール大麦、ホップなど、原料の栽培地域において、必要に応じて自治体との連携を図り対応。				4					9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	株主優待制度の選択項目として「社会貢献」を設定。				4							11			14	15		17		
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	東北ホップを使用したオリジナル製品ほか、製造、販売。									8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	グループ全体の取り組みとしてミニブックを作成し配布、またe-ラーニング実施により周知、共有。									8	9								17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	グループ全体の取り組みとしてミニブックを作成し配布、またe-ラーニング実施により周知、共有。																		16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	サステナビリティ・環境対策担当の専任部署を設置。																		16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	国内外の機関投資家、株主と役員、取引先、調達先、NPO/NGO、自治体など対話を行っている。																		16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクマネジメント基本方針の下、リスクマネジメント体制を構築し、損失の危険を適正に管理。																			16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	サッポログループサステナビリティ方針を掲げ、11のサステナビリティ重点課題を4つの約束として整理し解決に向けて取り組んでいる。																			16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続計画 (BCP) を策定。内容は随時見直しを行っている。											9		11		13 13.1			16	
42	非該当	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	-									8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）